校出身の栃木県知事・福田富

い記念碑の文字は、

本

氏の揮毫によるもので、

す。平成27年度の総会に付議

年度内の完成を目指しま

検討を重ねて頂いておりま

員会(顧問、

参与を含む)

で 役

意見から修正案を作成し、 窓会総会で頂いた、沢山のご に取組んでいます。昨年の同 地の記念碑「発祥の地」建設

同窓会は現在、旧字工高跡

発 行 所

宇都宮市雀宮町52番地 電話(028)678-6500

宇都宮工業高校

同窓会事務局



同窓会長



お喜び申し上げます。 やかな新年をお迎えのことと 同窓会々員の皆様には、 健

記念碑(正面左上)

用しています。荀子の言葉は、 年まで)、 ず・・・」を刻んだ石を配し は近しと雖も行かざれば至ら リーにあった荀子の言葉「道 側 夫の揮毫によるものです。 43代目の栃木県知事・横川信 念に建立したもので、 タリーにあった岩状の石を使 てあります。背景には旧ロー |時(本校が昭和33年から43 右側にはかつてロータ 石に刻 校舎増改築落成記 んだ旧 校歌を配 第 40 ~

> 望まれます。 場から「継続的な努力」を説 子は、 ので、今後ともこれらの宇工 も旧京町の姿を彷彿させるも いています。これらはいずれ の姿や形を繋いでいくことが に徹し、生涯学習の立 礼 を重視し、「実力

下さい。 ておりますので、 校行事等の広報活動も掲載し また、同窓会のHPに、学 参考にして



記念碑(裏面文字)

宇工生活躍 池 守 0 滋 年



頃からあたたかいご支援をい し上げます。 ただきまして、 本校同窓会の皆様には、 心から感謝申

ジし、 時代に様々なことにチャレン なるための基礎として、 されております。リーダーと のリーダーとなることが期待 おります。 本校の生徒は、将来、 全国的な活躍を願って 職場

さらに、長崎国体には、 クシング、 躍では、 ケットボールの栃木県チー 少林寺拳法が出場しました。 全国高校総合体育大会には、 会優勝を射貫きました。夏の 気科3年)は、見事に関東大 特に、弓道部の牧田知也君(電 て、関東大会に出場しました。 年も厳しい県大会を勝ち抜い 林寺拳法、水泳の各部が、 ソフトテニス、陸上競技、 さて、 本年度の運動部の活 バスケットボール、 弓道、 空手・少 今 ボ

> 出場しました。 関東高校生ものづくりコンテ また、本校の特色でもあるも 県代表として出展しました。 写真部では関東高校写真展に 化部においても、 に4名が選抜されました。 木材加工部門に県代表として ストに、 ソチ)に出場いたしました。 表としてWRO大会 (ロシア・ 研究部が今年も見事、日本代 のづくりでも、 が全国総合文化祭で入賞し、 旋盤作業・電気工事 生産システム 無線研究部

も国公立大学14名、私立大学 諸氏による実績をバックと よう学校全体として取り組ん 生徒の進路希望が実現できる 東京や県内の各校から合格を 38名が合格し、専修学校等も 率100%を達成いたしまし 生徒が内定をいただきまし を中心に10月末には大部分の も、これまでの多くの先輩 で参りますので、 いただきました。今後とも、 た。また、進学に関しまして 含め、今年も無事に就職内定 た。さらに、 は、地元企業や県内の大企業 3年生の進路に関しまして 就職希望者について 公務員希望者も 一層のご支

高校生ものづくりコンテスト

機械研究部 関東大会に出場して

顧問市 村

隆

幸

都立田無工業高等学校において が、平成26年9月14日、東京 テスト関東大会旋盤作業部門 第14回高校生ものづくりコン

県代表として機械科3年山崎 勝ち抜いた計10名で行われ、本 慶太君が出場しました。 選手は関東各都県の大会を 大会では、一部ローカルルール

開催されました。

ジナルのツールに合わせた工具整 2時間30分で競技終了となり が適用されますが、ほぼ全国 理台を設置し、それぞれの用途 ます。各選手はそれぞれのオリ 数本用意していました。 容となっています。 競技時間は 大会の課題、規則に準じた内 に合わせた加工用のバイトを20

善戦しましたが関東のレベルは ました。本校の山崎慶太君も、 の練習をこなし、この大会に臨 講師にも指導してもらい、多く 参考になりました。また外部 を短縮したり、多くの切削油 程などに工夫を凝らし、時間 ようにしている学校が多数あり を準備し仕上げ面がびびらない ていきました。 それぞれ加工工 手が2時間内で作業を終了し んできていることがよく分かり 競技が始まり、ほとんどの選

> りませんでした。 高く、残念ながら入賞には至

会の皆様、 徒・先生・保護者ならびに同窓 応援してくださいました、生 ありがとうございま



電気電子研究部

の真摯な取り組み姿勢は大変 課題を見つけて練習を重ね、そ づけるよう競います。石川君は 題を120分以内で正確に美し の石川竜也君が優勝し、関東 スト電気工事部門で電気科3年 第14回栃木県ものづくりコンテ 素晴らしいものがありました。 日頃から熱心に、自ら意欲的に く仕上げて、減点を極力0に近 与えられた電気配線工事の課 た。 1820 四万のベニヤ板に 名の計16名で競技が行われまし 校で開催され、各県から代表2 は群馬県の前橋産業技術専門 大会に出場しました。本年度 平成26年8月2日に行われた 顧問 畄 本 幸

> のでした。後輩の指導にも熱心 そ逃しましたが3位と立派なも を身につけており、大会直前の で、その取り組み姿勢を継承し きていました。結果は、優勝な 仕上げ、優勝を狙えるところに 練習では、減点0のレベルにまで てもらいたいと思います。



建築研究部

顧問黒

﨑

利

之

は小根ほぞ組で、昨年度に比べ が傾斜し、さらに柱と梁の仕口 て大変難しい課題となりまし の課題は、桁から柱に架かる梁 勝を勝ち取りました。今年度 ました。彼は県大会において完 県代表として、本校建築デザイ ター体育館で行われました。 本 甲府市の山梨県立青少年セン 26年9月6日(土)に山梨県 速くなり、順調に仕上がるよう 結果、 大会では加工スピードが とスピードを高めました。 その 度も練習し、仕上げの正確さ た。練習では、仕口部分を何 成度の高い作品を仕上げて、優 ン科2年佐藤大樹君が出場し 今年度の関東大会は、

でいました。



WRO2014に参加して

生産システム研究部

平成

うレギュラーカテゴリーと、テー ロシア・ソチのアドレルアリーナ 25000チームから選ばれた もとにプレゼンテーションを行う マに沿って製作したロボットを を舞台に、正確さと速さを競 約400チームが参加しました。 大会で、今年は46の国と地域 連続9回目の出場です。本大 加しました。 宇工としては8年 開催されたWRO世界大会に参 オープンカテゴリーに分かれ競技 会は世界的な自律型ロボットの 11月21日から23日にかけて 保護者小倉良

年に向けて、上位入賞を目指 に本人も悔しがっていたが、来 となってしまいました。この結果 り、順位を大幅に下げる結果 いてこの部分で大きな減点にな てしまいました。 最終審査にお あたつて取り付けが困難になる して再起を図りたいと意気込ん



ります。 の経験が得られたことと思いま 供たち、ご指導くださった先生 ました。ひとえに努力した子 立派な成績を収めることができ 良い機会になることを願ってお たことでしょう。 本大会へ参加 戦の日本大会を制した子供たち せた成果だと感じております。 壁を乗り越え、6位入賞と審 たからこそみえた課題も多かつ す。一方で、国際舞台を経験し にはWRO大会を通じて、多く 高度な電子回路を自作し、激 た保護者皆様の総力を結集さ 査員特別賞のダブル受賞という に1チーム出場し、 英語による したことが、課題を自ら考える 方、そして活動を支えてくれ ブレゼンテーションという言葉の 宇工からはオープンカテゴリー

全国・東日本・関東大会 に出場して

弓道部顧問 福 田 和 寛

今年の弓道部は、

県大会か

結果として安定した高い技術力

付け作業で、釘が大きな節に

に思えたが、最後の垂木の取り

が繰り広げられました。

ら東日本高校弓道大会や関東 選抜大会へと大きく活躍の場を 高校弓道大会、全国高校弓道 広げた年になりました。

関東大会では、個人競技におい 催され、3人制団体競技で優 部初の関東チャンピオンになり て、牧田君が優勝し本校弓道 勝し、神奈川県で開催された 東日本大会は、秋田県で開



さや1射の大切さを理解しまし 敗退でしたが、この経験は、 ました。競技の結果は、予選 勝という形で生かされたと思い 校新人大会で2年連続団体優 国大会後に開催された、県高 囲気を感じ、初めての経験をし 各地の選手が集まる独特な雰 てきました。選手達は、全国 鹿児島県において競技に参加し 体競技で全国選抜大会に出場 し、桜島の雄大な姿が見られる 勝利には、 本校弓道部初、 負ける悔し 全

部員は弓道競技に関わりな

がら、日常生活に通じる事を、 験をしてくれました。 弓道を道具によく学び、 良い経

自ら行動できる視野の広い工働きながら学び、自ら考え、 業技術者の育成を目指して

定時制課程

澤 雅 幸

教頭 **伊**

クラスで、1年次に工業に関す 徒が20歳以上です。 数は、5月1日現在で164名 機械コースに分かれます。 生徒 だ後、2年次から電気コースと る基礎的技術を総合的に学ん 1 その約1割に相当する16名の牛 (うち女子16名) となっており 定時制に設置されている工業 定時制課程の概要 各年2クラスの計8

2、定時制課程生徒の変容

ことが、登校意欲や学習意欲 勉強している者もおり、自分の 2時間以上前に学校に登校し、 にも良い影響が出ています。 友人同士で会話を楽しんでいた め、生徒の中には、始業時間の 制専用の教室が設置されたた 室を使用するのではなく、定時 全日制と定時制が共有した教 目になりますが、以前のように、 本校は、雀宮に移転して4年 読書をしていたり、 (ホームルーム) がある 中には

間で卒業できる制度(三修制 学期間は4年間ですが、3年 定時制は、通常、 在

> 学生から、三修制で従来の第日 や三修制を希望する生徒の人 があり、特に、平成24年度入 数が増加しています。 以前より落ち着いて学校生活を 導入したことにより、生徒は、 送れるようになり、三修卒業生 H24 : 4名→H25 : 15名 第5限に加えて、第1限を

> > はじめに

伊東

英彦

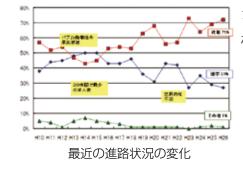
の生徒の活躍が目立っています。 で7位に入賞するなど、定時制 連覇し、北関東大会において群 連覇し、陸上、バドミントンと 関東大会ではサッカーが第3位、 馬県の高校にも勝利(優勝)し、 ともに全国大会出場となりま 今年度、サッカーが県大会で7 全国大会においては、サッカーが 4の一員として、1、600mリレー 全国ベスト16、陸上が栃木県チー 全国大会に出場となりました。 した。軟式野球は県大会で10 さらに、部活動においても、

おわりに

りを進めていきたいと考えてい をしつかりと身に付けさせ、全 で、高校生としての学力とマナー 今年度(H26)で4年目、新 日制を含めた全教職員の協力の 今後は、科学技術高校としての うど3年が過ぎたところです。 成果を検証しながら、個に応じ 校舎へ移転して昨年9月でちょ に指導の更なる充実を図ること 本校は科学技術高校として 魅力と活力のある学校づく

平成 進路指導部長 一十六年度の進路

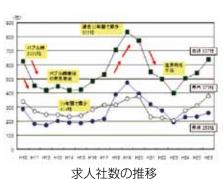
割合が70%を超える学年とな りました。 景気回復等の影響もあり、 技術・技能を学んできました。 の科・コースで専門的な知識 る今年の3年生は、 ?社数も大幅に増え就職者の 科学技術高校第二期生とな それぞれ 求



221名 (県内就職170名) 希望する生徒が昨年度同様多 内定しています。科学技術高 自営等3名の合計230名が 県外就職51名)、 で学んだ事を活かせる仕事を 校の特色である 「科・コース」 就職に関しては、 公務員6名 民間企業

> 科・機械技術コースでは機械産 職先になっています。 うことで、コースに特化した就 くなりました。 業関連会社に7割が就職とい 例えば、

りも100社程度増加し、 ています。 外258社)でした。昨年よ 637社(県内379社、 に建設関連会社の求人が増え 今年度の求人社数 は、



の大学においても工業高校で学 進学となっています。 出すことができました。いずれ 名に対して2名多く合格者を 宮大学5名など、昨年度の12 ます。国公立大学では、宇都 学4名、私立大学40名、高専 合計89名の進学が決定してい んだ工業の専門性を活かしての 大学校・専門学校等35名の 進学に関しては、国公立大

平成25年度収支決算報告

(1) 一般会計

収入金 4,660,611円 支出金 2,802,511円

1,858,100円

自 平成25年4月1日 平成26年3月31日

■収入の部

金

(単位:円)

科		目	予 算 額	決算額	増	減	備	考
繰	越	金	1,259,884	1,259,884		0		
永り	人会貞	員費	3,450,000	3,400,000	△;	50,000	全日3,140,000 定時 260,000	
雑	収	入	0	727		727	利子	
	計		4,709,884	4,660,611	Δ4	19,273		

■支出の部

科		目	予 算 額	決算額	増 減	備	考
会	議	費	600,000	493,872	△106,128	総会・理事会、	資料印刷代
事務	局運	営費	300,000	138,660	△161,340	名簿管理費、通信	費、一般備品
渉	外	費	300,000	164,585	△135,415	母校歓送迎会	等、寸志等
事	業	費	1,500,000	1,570,412	70,412	90周年新聞広告、卒 報、会長賞、餞別金、さ	業記念品、同窓会 『活動補助等
教育	活動後	援費	300,000	300,000	0	教育活動後援	費
慶	祝	費	200,000	94,962	△105,038	叙勲受章など	
同窓会	ÈHP∜	管理費	200,000	40,020	△159,980	HP更新料、+	トーバー費
予	備	費	1,309,884	0	△1,309,884		
	計		4,709,884	2,802,511	△1,907,373		
	нΙ		1,100,001	2,002,011			

(2) その他

①基金

(単位:円)

基金	基 金 9 6		5 7
	栃木銀行	足利銀行	日光杉並木基金
	22,611,050	53,747,007	20,000,000

^{*}創立90周年記念事業として500万円を基金から支出

監査報告

母校において、関係諸帳簿・領収書・通帳等と照合の結果、予算の執行・記帳・その他について、正確であり誤りのないことを証明します。

平成26年5月23日

会計監査

平成26年度予算(案)

(1) 一般会計

収入金 5,538,100円 支出金 5,538,100円

0円

自 平成26年4月1日 平成27年3月31日

■収入の部

(単位:円)

科		目	25年度予算額	26年度予算額	増	減	備	考
繰	越	金	1,259,884	1,858,100	59	98,216		
永久	、会」	員費	3,450,000	3,680,000	23	30,000	全日3,210,000 (321人) 定時 470,000 (47人)	
雑	収	入	0	0		0	一般会計利子	
	計		4.709.884	5.538.100	85	28.216		

■支出の部

科 目	25年度予算額	26年度予算額	増 減	備考
会 議 費	600,000	600,000	0	総会・理事会、資料印刷代
事務局運営費	300,000	200,000	△100,000	名簿管理費、通信費、一般備品
渉 外 費	300,000	200,000	△100,000	母校歓送迎会等、寸志等
事 業 費	1,500,000	1,300,000	△200,000	卒業記念品、同窓会報、同窓会長賞、 餞別金、部活動全国大会等補助
教育活動後援費	300,000	300,000	0	教育活動後援費
慶 祝 費	200,000	200,000	0	
同窓会HP管理費	200,000	100,000	△100,000	サーバー変更により減額
予 備 費	1,309,884	1,138,100	△171,784	
借入金返済	0	1,500,000	1,500,000	基金に返済
計	4,709,884	5,538,100	828,216	

(2) その他

①基金

(単位:円)

基 金	9 6	, 358, 05	5 7
	栃木銀行 22,611,050	足利銀行 53,747,007	日光杉並木基金 20,000,000

下さい。

議題である9周年記念事業

出身の教職員は22名になりま

旧学校敷地

心の記念

が掲載して有りますのでご覧

碑建立、 の後援、

会則などをご審議頂

きました。

総会後、平成25年に栃木県

平成26年度役員

会 長 圌 義繁忠秀恭 田 治男文夫男造一久薫之明 副会長 嶋 田 " 湯 \Box 齊今 藤井 林弘智 " 梅 津 井梶 藤 亀和田 監 查 大根田 倭 秀 小 林 好蔵 顧 問 板吉福 橋 健富 成 田 夫 团 部 和 分男誠 猪 瀬 成 伊 藤 " 飯 塚 光 雄 中 島 宏滋男男隆長 池 守 参 野 尻 政

亀和田

小

渡 辺 勇

沼平 柿

辰

良

雄

須清 利生先生が真岡工高に、 ||械科の田崎隆男先生が那須 【械科の小野幸宏先生と石塚 峰 高 降高に異動されました。 吉沢達生先生が今下 電子



成25年度秋に叙勲されました 彰を受けられた板橋|好様、 懇親会を行いました。 渡邉勇雄様を迎え、 議会永年在職功労者などの表 同窓会事務局の動 気科の粕谷正人先生が那 祝賀会と 向 平

> 部、 励賞として生産システム研 科熊田知弘君に、 同窓会長賞 同窓会長賞として電子機械 定時制サッカー部に授与致 同窓会長 奨励

究 奨

同窓会定期総会報告

算報告及び平成26年度予算案 催されました。 平成25年度決 年6月7日 (土)、 に於いて常任理事会と共に闘 平成26年度総会は、 ホテル丸治 平成

動され、 ました。 の小太刀克美先生が足女に異 に異動されました。 先生が赴任されまして、 宏美先生、 がご退職し栃木県に転職され 4月には環境設備科に上 為永明彦先生が真岡工高 土木科禧久裕成先生 機械科に大森|之 また理科 宇工